

# 小体研

Physical education

2022年(令和4年)

10月12日(水)

◇第3号◇

八重山地区小学校体育研究会広報誌

市学力向上推進研究指定校 石垣市立石垣小学校  
目標に向かって主体的に学び合い、自分力を高める児童の育成  
～一人一台端末を活用した授業を通して～

石垣小学校4年 伊佐卓真先生 「キャッチバレーボール ～仲間とつないでアタック～」  
校内研究テーマ通りの、主体的に学び合い、自分力を高めようとする児童の姿がたくさん見られました。  
参観して、特に参考になったのが以下の3つ!!

①ICTが手段の一つとして共通理解されており、必要に応じて活用していた。

②運動量の充実(端末を入れることで一番懸念されるものでしたが…。)

③ふりかえりをロイロノートでやることによる視覚化、即時フィードバック



曲が変わったら、別の練習をする。学級での  
ルールの定着がいいですね。ノーホイッスル

授業者より

タブレットを活用することで、児童が休み時間などの空き時間を活用して作戦などを考えることが出来、学習に対して主体的な姿が見られました。しかし、タブレット活用については授業内での活用時間を確保するために、その他の時間も使う必要がありました。

作戦については、ロイロの共有ノートを使うことで他のチームの作戦も参考にすることができました。それにより、自分たちのチームでも出来そうなことを選択、練習することが出来ました。



作戦カードは、タブレットを活用して。  
ペンを使いながら主体的に話し合い。



子どもの振り返りを端末で。  
視覚化、即時フィードバック!!

子ども達の主体的に学びに向かう姿がとても印象的でした。タブレットはあくまで手段として、なんのために使うのかを明確にしながら進めていく大切さを実感させていただきました。

八重山地区小学校体育研究会 各部会統括 金城一機 (八重山地区体育科指導コーディネーター)

子ども達がロイロノートを活用しながら思考(試行)している様子がかうかがえました。タブレットがあることで「思考の整理」「意欲の向上」見られたので、タブレットの効果的な活用については、八重山全体で共有しながら進めていけるといいと思います。

また「場の工夫」をするとさらに面白くなります。例えば、コートの横幅を狭く→ディフェンス有利・レシーブの技能が未定着の時に有効…など。縦幅を広げる→オフェンス有利・運動量が増える…など。

運動の特性に応じた場があるので、学級の実態に応じて工夫すると面白いかもしれません。

八重山地区小学校体育研究会 副会長 宮良善起